

平成30年度
裾野市第4次総合計画後期基本計画 基本目標
進捗状況評価書

令和元年7月
裾野市

第4次総合計画後期基本計画 達成目標進捗管理

(平成30年度末時点の進捗状況)

評価	◎	○	△	—
事業数(事業)	29	1	29	4
比率(%)	46	1.6	46	6.4

※6-6 後期基本計画の目標達成率の向上は除く(平成30年度評価=○)

(進捗状況凡例)

- ◎ :前倒しで推移 実績値が目標値に向けて想定以上に推移しており、目標達成が見込まれる。【実績値が、期待値(単年度毎の目標値)以上】
- :順調に推移 実績値から判断し、目標達成が見込まれる。【実績値が、前年度の期待値に「期待値の単年増分の7割」を加算した値以上】
- △ :取組みに遅れ 目標達成に向けて、より一層の推進を要する。【実績値が、前年度の期待値に「期待値の単年増分の7割」を加算した値未満】
- :実績値確定前 統計情報等確定前。

※期待値の単年増分は、「(平成32年度目標値-計画策定時基準値)÷5」を基本とする。

※減少を目標とした指標については、「期待値以上」が「期待値未満(以下)」となる。

※評価指標が「毎年100%を維持する」といった「維持目標」の場合は、◎か△のどちらかの評価となる。

施策の大綱 1 だれもが将来にわたってすこやかに暮らせる健康と福祉の「すその」

定量評価

定性評価

評価	◎	○	△	—
事業数(事業)	4	0	5	0
比率(%)	44.4	0	55.6	0

・「健康づくりの支援」の満足度が△であったが、福祉保健会館の大規模改修、自殺総合対策計画の策定、産婦検診、産後ケア等、取組(アウトプット)は多く、数値も前年に比べ上昇している。
 ・子育て支援推進の取組みとして子育て世代包括支援センターの設置、こども医療費助成制度の高校生までの拡大、御宿台保育園の指定管理、放課後児童室の6年生までの受入拡大等を実施し、事業はいい方向に進んでいるが、0～4歳人口は減少している。
 ・0～4歳人口を増やす指標はハードルが高いと認識している。
 ・子育てニーズ調査結果として「子育てに関する情報発信」については、50%以上が満足していた。
 ・特定検診受診率が下がっているが、過去3年間未受診者に対し、対策事業を実施し、周知方法等の工夫を行った。

施策の柱	評価指標	28年度末進捗状況	29年度末進捗状況	30年度末進捗状況	基準年	計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	H30年度	H32年度	評価	取組内容
						基準値	実績値			期待値(7割加味)	目標値		
1 健康づくりの推進	自分の健康状態が健康であると答える人の割合(%・年度)	評価できない	△	◎	H28	75.3	75.3	74.2	80.0	77.7(76.9)	80	前年度に比べ数値が上昇し、目標の達成が見込まれる。	・寄り道ウォーキング ・寄り道試食会(企業や市内スーパーと連携) ・初心者のための体操教室を開催。
	「健康づくりへの支援」の満足度(%・年度)	評価できない	△	△	H28	27.3	27.3	14.3	19.8	31.2(30.0)	35	前年度に比べ数値は上昇したが、期待値を下回っている。	・寄り道ウォーキング ・寄り道試食会(企業や市内スーパーと連携) ・初心者のための体操教室を開催。
2 子育て支援の推進	0～4歳人口(人・年度)	△	△	△	H27	2,564	2,487	2,405	2,287	2,730(2,680)	2,840	前年度に比べ数値が減少し、期待値を下回っている。	・乳幼児健康診査 ・育児の不安解消のための相談・訪問事業。 ・ALTによる異文化交流の機会を確保(公立) ・職員や施設スペース等の受け入れ態勢の確保
	4月1日現在の保育所待機児童の数(人・年度)	◎	◎	◎	H27	0	0	0	0	0(1以上)	0	前年度に引き続き待機児童がゼロであり、目標の達成が見込まれる。	・乳幼児健康診査 ・育児の不安解消のための相談・訪問事業。 ・ALTによる異文化交流の機会を確保(公立) ・職員や施設スペース等の受け入れ態勢の確保
3 地域医療体制の確保	国民健康保険特定検診受診率(%・年度)	△	△	△	H27	46.9	44.3	45.0	44.5	54.8(52.4)	60	前年度に比べ数値が減少し、期待値を下回っている。	・受診促進キャンペーンや広報、未受診者への受診勧奨。 ・かかりつけ医の受診や相談の必要性に関する啓発 ・疾病の重症化や健康被害を防ぐため、かかりつけ医との連携や受診勧奨
	「病院、かかりつけ医による医療」の満足度(%・年度)	評価できない	△	◎	H28	26.6	26.6	24.7	31.7	30.8(29.5)	35	前年度に比べ数値が上昇し、目標の達成が見込まれる。	・重複受診や多受診を防ぐため、かかりつけ医の受診や相談の必要性に関する啓発。 ・疾病の重症化や健康被害を防ぐために、かかりつけ医との連携や受診勧奨。
4 地域における福祉の推進	民生委員・児童委員の相談指導件数(件・年度)	△	△	△	H27	3,171	2,614	2,297	2,417	3,000以上(3,000未満)	3,000	前年度に比べ数値は増加したが、期待値を下回っている。	・地域住民の身近な相談相手である民生児童委員との連携強化。
	介護を必要としない高齢者の割合(%・年度) 【要介護非認定者高齢者数/高齢者数】	◎	◎	◎	H27	90.3	90.6	90.5	90.4	89以上(89未満)	89	前年度に比べ数値は上昇し、目標の達成が見込まれる。	・介護予防教室にリハビリ職の参加。 ・高齢者の居場所づくりのための地域サロンの運営。 ・住民の自主的な予防活動の場を増やす。
5 障がい福祉の推進	自立支援サービスの支給決定件数(件・年度)	△	△	△	H27	867	549	520	549	947(923)	1,000	前年度に比べ数値は増加したが、期待値を下回っている。	・相談支援事業所との連携。 ・子育て支援世代包括支援センターの設置。

施策の大綱 2 成長するよろこびと地域のつながりで心の豊かさを育む「すその」

定量評価

定性評価

評価	◎	○	△	—
事業数(事業)	5	0	6	0
比率(%)	45.5	0	54.5	0

・小学生では「自分の夢」、中学生には「自分の進路」を考える取組みとして、大手企業と協力したキャリア教育や職業体験学習を実施した。
 ・生涯学習センターの指定管理者が文化センターと同じになり、両施設の休館日を各週で交互にしたため、生涯学習センターの休館日が増えたが、デジタルサイネージの導入や窓口対応に好評を得た。
 ・青少年の健全育成に関する事業参加者数は(ふるさと学級、通学合宿、わたしの主張、わんぱく遊び塾、チャレンジ実験)は令和元年度には、事業見直しで減少することが考えられる。
 ・文化センターは、平成30年度にエレベーター改修工事、今年度はトイレ改修を実施する。1階スペースに無償スペースをつくり、利用向上を図った。

施策の柱	評価指標	28年度末進捗状況	29年度末進捗状況	30年度末進捗状況	基準年	計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	H30年度	H32年度	評価	取組内容
						基準値	実績値			期待値(7割加味)	目標値		
1 学校教育の充実	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合(%・年度)	△	△	△	H27	小学生: 83 中学生: 71	小学生: 87 中学生: 68	小学生: 84 中学生: 64	小学生87 中学生69	小学生: 87 中学生: 76 (小学生: 86) (中学生: 75)	小学生: 90 中学生: 80	小学生は期待値まで届いたが、中学生は期待値を下回っている。	・ほんものふれあう学習事業 ・職場体験学習 ・キャリア教育(企業と連携)
	指導内容等について近隣の小学校(中学校)と連携している学校の割合(%・年度)	△	◎	◎	H27	57	57	78	86	82.8 (75.1)	100	前年度に比べ数値が上昇し、目標の達成が見込まれる。	・市内校長研修会 ・各種研修会等で、中学校区での協議実施
2 生涯学習の充実	「生涯学習センター・公民館を拠点とする生涯学習活動」に満足している人の割合(%・年度)	評価できない	△	△	H28	16	16	11.6	16.1	26.0 (23.0)	36	前年度に比べ数値は上昇したが、期待値を下回っている。	・デジタルサイネージの設置 ・市民ニーズに対応した学習プログラムの提供 ・新規講座の開設(公民館活動)
	生涯学習センター利用者数(人・年度)	△	△	△	H27	64,722	55,978	54,286	48,733	69,809 (68,283)	73,200	前年度に比べ数値が減少し、期待値を下回っている。	-
	東西公民館・東地区コミュニティセンター利用者数(人・年度)	△	△	△	H27	29,480	28,900	25,001	27,284	29,792 (29,698)	30,000	前年度に比べ数値は増加したが、期待値を下回っている。	-
3 青少年の健全育成	青少年健全育成に関する事業参加者数(人・年度)	◎	○	△	H27	647	694	697	595	739 (711)	800	前年度に比べ数値が減少し、期待値を下回った。	・青少年健全育成に関するイベントの開催(ふるさと学級、通学合宿、わたしの主張、わんぱく遊び塾、チャレンジ実験)
4 スポーツ・レクリエーションの振興	週1回以上(30分以上)の運動習慣のある市民の割合(%・年度)	◎	◎	◎	H27	48.8	51.0	53.7	50.7	49.5 (49.3)	50	前年度に比べ数値が減少したものの、期待値を上回っている。	・スポーツ施設の維持管理 ・各種大会、イベントの支援
	市内の公共スポーツ施設の年間利用者数(人・年度)	◎	◎	◎	H27	307,710	383,449	403,607	420,518	363,084 (346,472)	400,000	前年度に比べ数値が増加し、目標の達成が見込まれる。	・全国レベルの大会、スポーツイベントとの誘致 ・陸上や東京2020オリンピック、パラリンピックの合宿誘致
5 文化の振興・保存	市民文化センター利用者数(人・年度)	△	△	◎	H27	190,119	179,123	177,960	215,217	196,048 (194,269)	200,000	前年度に比べ数値が増加し、目標の達成が見込まれる。	・吹奏楽フェスティバルの開催 ・設備改修
	図書館資料の貸出者数(人・年度)	◎	○	◎	H27	60,251	64,087	63,944	64,895	64,151 (62,981)	70,000	前年度に比べ数値が増加し、目標の達成が見込まれる。	・ファーストブック事業 ・親子を対象としたイベント、後援会の実施。
	図書館の入館者数(人・年度)	△	◎	△	H27	128,959	142,334	138,067	119,761	129,584 (129,396)	130,000	昨年度に比べ数値が減少し、期待値を下回った。	・駐車場及び整備改修 ・図書館講座の開催 ・ウェブサイトの充実

施策の大綱 3 市民と行政が手を携えてつくる安心と活力のある「すその」

定量評価

定性評価

評価	◎	○	△	—
事業数(事業)	6	1	5	0
比率(%)	50	8.3	41.7	0

・消費者生活に関する相談件数は多くなっているが、はがきや電話による勧誘が増えている中で、実際に裾野で被害は増えていない。
 ・多様なライフスタイルづくり関連事業は財政が厳しい中で知恵を絞って取り組んでいる。各事業の参加総動員数は長泉町とあわせ、約1,100人「みんなで子育てするまち推進事業」の認知度はアンケート結果で約7割であった。
 ・行政の取組みに直結するものでない「犯罪件数」や「火災件数の増減」の指標評価が困難である。
 ・H29年度に実施した「女性にやさしい避難所運営モデル展示の検討会」の参加者により、H30年度に「女性目線等による避難所運営支援事業」として「防災」ハンドブックを作成した。

施策の柱	評価指標	28年度末進捗状況	29年度末進捗状況	30年度末進捗状況	基準年	計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	H30年度	H32年度	評価	取組内容
						基準値	実績値			期待値(7割加味)	目標値		
1 市民協働によるまちづくり、コミュニティづくりの推進	「地域や団体などの活動への支援」に満足している人の割合(%・年度)	評価できない	△	○	H28	7.4	7.4	7.2	13.1	13.7(11.8)	20	前年度に比べ数値が増加し、目標の達成が見込まれる。	・市民活動センターの運営 ・人材育成講座の実施
	自治会(区)参加率(%・年度)	△	◎	◎	H27	87.1	86.3	86.2	85.8	85以上(85未満)	85	前年度に比べ数値は減少したが、目標の達成は見込まれる。	・自治会活動への支援
2 誰もが生きがいを感じられるまちづくりの推進	「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」という用語と内容を認知している人の割合	評価できない	○	◎	H28	37.7	37.7	40.5	45.3	43.9(42.0)	50	前年度に比べ数値が上昇し、目標の達成が見込まれる。	・推進講座の実施
	多様なライフスタイルづくり関連事業の参加者数(人・27～32年度累計)	◎	◎	◎	H27	2,516	5,697	8,073	9,244(1,171)	8,000(5,600)	12,000	前年度に比べ数値が増加し、目標の達成が見込まれる。	・みんなで子育てするまち推進事業
3 環境負荷の少ないまちづくりの推進	環境イベント・環境教育講座の開催回数(回・年度)	◎	◎	◎	H27	37	37	45	37	30以上(30未満)	30	前年度に比べ数値は減少したが、目標の達成は見込まれる。	・環境イベント、環境教育講座の実施
	市民1人1日あたりのごみの排出量(g/人・日)	◎	◎	◎	H27	849	829	800	794	850以下(851以上)	850	前年度に比べ数値が減少し、目標の達成が見込まれる。	・ごみ分別減量の啓発
4 防災・減災対策の充実	防災訓練参加者数(人・年度)	◎	◎	◎	H27	17,964	19,069	40,097	27,152	20,986(20,079)	23,000	前年度に比べ数値は減少したが、目標の達成は見込まれる。	・各区の防災訓練サポート
5 防犯体制の充実	犯罪発生件数(件・年度)	△	△	△	H27	248	312	237	234	219(228)	200	前年度に比べ数値は減少したが、期待値を下回っている。	・防犯関連団体との連携強化 ・防犯教室の開催及び啓発活動
6 交通安全対策の充実	交通事故発生件数(件・年度)	△	△	△	H27	306	342	360	316	272(282)	250	前年度に比べ数値は減少したが、期待値を下回っている。	・交通安全教室の実施 ・啓発活動
7 消費生活対策の充実	消費生活に関する相談件数(件・年度)	◎	◎	△	H27	455	435	475	528	480以下(481以上)	480	前年度に比べ数値が増加し、期待値を下回っている。	・被害事案発生防止の取組み
8 広域連携による消防・救急体制の充実	消防団団員数(人・年度)	△	△	△	H27	240	236	235	231	240(240未満)	240	前年度に比べ数値が減少し、期待値を下回っている。	・行事を通じ、市民の理解促進
	火災出火件数(件・年度)	△	△	△	H27	14	18	16	13	12(12)	10	前年度に比べ数値は減少したが、期待値を下回っている。	-

施策の大綱 4 豊かな自然と暮らしやすさが調和した「すその」

定量評価

定性評価

評価	◎	○	△	—
事業数(事業)	6	0	4	2
比率(%)	50	0	33.3	16.7

・立地適正化計画の策定と裾野駅西土地区画整理事業の事業計画・実施計画の変更は当初予定通りに進んだ。
 ・地域交通網形成計画は予定年度を超えたが、平成30年度当初に策定した。
 ・バス路線や便数に満足している人の割合が低く、この部分は市民生活に与える影響が大きいため、力を入れていく必要がある。この指標の進捗は大綱の評価にも影響があるとする。
 ・上水道に関する有収率、改善要望件数、下水道整備面積の指標の進捗状況は△ではあるが、昨年度に比べ数値は目標に向け進捗している。

施策の柱	評価指標	28年度末 進捗状況	29年度末 進捗状況	30年度末 進捗状況	基準 年	計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	H30年度	H32年度	評価	取組内容
						基準値	実績値			期待値 (7割加味)	目標値		
1 裾野市らしいまちづくりの推進	立地適正化計画の策定状況	—	—	◎		—	—	△	30年度策定	策定(未策定)	30年度策定	目標を達成した。	・庁内検討会の実施 ・アドバイザー会議の実施
2 活気に満ちた市街地整備の推進	裾野駅西土地区画整理事業の事業計画・実施計画の変更状況	—	—	◎		—	—	△	変更	変更完了(未了)	30年度変更	目標を達成した。	・国県、関係機関協議
3 快適な住環境の創出	住宅の耐震化率(%・年度)	—	—	—	H25	83.8	—	△	△	△	95	—	—
4 利便性の高い道路網の整備・保全	都市計画道路の整備により促進された開発面積(ha・27～32年度累計)	○	◎	◎	H27	0.34	1.56	4.81 (R1修正)	5.53 (0.72)	4 (3)	6	前年度に比べ数値が増加し、目標の達成が見込まれる。	・都市計画道路の整備
	道路施設の耐震補強及び老朽化対策件数(件・27～32年度累計)	◎	◎	◎	H27	8	21	31	45 (14)	40 (28)	60	前年度に比べ数値が増加し、目標の達成が見込まれる。	・老朽化対策の実施
5 持続可能な公共交通の確保	地域公共交通網形成計画の策定状況	—	△	—		—	—	素案作成	策定	策定(未策定)	29年度策定	予定年度を超えたが、年度当初に計画を策定した。	・素案に対し、パブリックコメントの実施。 ・地域公共交通活性化協議会の開催
	「バス路線や便数」に満足している人の割合(%・年度)	評価できない	△	△	H28	5.2	5.2	3.4	4.8	7.6 (6.9)	10	前年度に比べ数値は上昇したが期待値を下回っている。	・新ルートと運行時間、回数の見直し
6 治山・治水の推進	河川災害発生件数(件・年度)	◎	◎	◎	H27	0	0	0	0	0 (1以上)	0	前年度に比べ数値が増加し、期待値を下回っている。	河川改修の実施。
	山地災害発生件数(件・年度)	◎	◎	◎	H27	0	0	0	0	0 (1以上)	0	前年度に比べ数値は変わらず、目標の達成が見込まれる。	・治山パトロールの実施。 ・砂防工事の実施。 ・間伐事業による森林整備
7 豊かで良質な水道の安定的確保	供給した配水量に対する料金徴収対象となった水量の割合(有収率)(%・年度)	△	△	△	H27	80.0	80.3	81.6	82.9	84.3 (83.0)	87.1	前年度に比べ数値は上昇したが、期待値を下回っている。	・老朽化した排水管の更新工事
	水道に対する、市民の年間改善要望件数(件・年度)	◎	△	△	H27	7	4	7	6	5以下 (6以上)	5	前年度に比べ数値は減少したが、期待値を下回っている。	—
8 衛生的で快適な下水道の整備	下水道整備面積の拡大(ha・年度)	△	△	△	H27	352.7	362.0	364.0	364.9	440.9 (414.4)	499.7	前年度に比べ数値は増加したが、期待値を下回っている。	・下水道整備の実施。

施策の大綱 5 今ある魅力と資源を再発見し、未来へつなげる「すその」

定量評価

定性評価

評価	◎	○	△	—
事業数(事業)	5	0	3	0
比率(%)	62.5	0	37.5	0

・観光施設の利用者数が約10万人減っているが、天候の影響で変動する範囲であると考ええる。
 ・産業連携プラットフォームの運営は相談件数が増加し、効果として会員の新事業や売り上げが伸びていることは評価ができる。
 ・住み続けたいと答える市民の割合は、20代、30代の年代が低くなっている一方70代は、80%を超えている。年代・地域によって異なるが、市民全体の満足度を上げてく取組みが必要である。

施策の柱	評価指標	28年度末 進捗状況	29年度末 進捗状況	30年度末 進捗状況	基準 年	計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	H30年度	H32年度	評価	取組内容
						基準値	実績値			期待値 (7割加味)	目標値		
1 商工業の振興	中小企業相談事業(ソブス)の相談件数(件・年度)	評価できない	◎	◎	H28	210	301	442	452	355 (312)	500	前年度に比べ数値が増加し、目標の達成が見込まれる。	・産業連携プラットフォームの運営
2 活力ある産業基盤づくり	市民一人あたりの所得額(千円・年) ※市民一人あたり=納税義務者一人あたり	△	△	◎	H27	3,276	3,251	3,266	3303	3,290 (3,286)	3,300	-	-
3 農林業の振興	認定農業者数(人・年度)	◎	◎	◎	H27	24	25	26	26	26 (25)	27	前年度に比べ数値に変化はないが、目標の達成が見込まれる。	・新規就農に対する相談受付 ・関係機関と連携したフォローアップの実施
	耕作放棄地解消面積(ha・28～32年度累計)	△	◎	◎	H27	—	6.1	10.4	14.1 (3.7)	12.0 (8.4)	20	前年度に比べ数値が増加し、目標の達成が見込まれる。	・「パノラマロードを花でいっぱいにする会」と「花の会」への支援
4 観光産業の振興	観光施設の利用者数(千人・年度)	△	△	△	H27	2,248	2,254	2,229	2,227	2,459 (2,396)	2,600	前年度に比べ数値が減少し、期待値を下回っている。	・イベントの開催及び支援 ・観光施設の看板整備
	夏祭り、五竜みどりまつりの集客者数(千人・年度)	◎	◎	◎	H27	37	46	44	47	42 (40)	45	前年度に比べ数値が増加し、目標の達成が見込まれる。	・実施団体への支援
5 地域資源磨き・魅力発信の推進	「住み続けたい」と答える市民の割合(%・年度)	評価できない	△	△	H28	78.6	78.6	74.1	68.1	79.3 (79.1)	80	前年度に比べ数値が減少し、期待値を下回っている。	・シティープロモーション
	人口の社会移動における転出者数(前年比転出者数)(人)	◎	◎	△	H27	▲ 222	▲ 89	▲ 89	213	▲ 80 (▲ 56)	▲ 80	前年度に比べ数値が転出者数が増え、期待値を下回っている。	・H30まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン

